

保護者のみなさまへ

八尾市立桂小学校
校長 森 英世

学校教育自己診断 保護者アンケートの結果について(ご報告)

寒さも少しずつ緩み、春がもうそこまで来ています。保護者のみなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、先日実施いたしました保護者アンケートについて、ご協力いただきましたことに感謝いたしますとともに、その結果をご報告いたします。

有効回答率は51%で、項目ごとの結果はウラ面の表のとおりでした(数値は、全有効回答にしめる割合で単位は%)です。全25項目の平均ですが、「よくあてはまる」59%、「ややあてはまる」31%との評価をいただきました(昨年度は前者54%、後者37%でした)。

まずは、有効回答数が今回51%という数値で、前年度よりも多くの回答をしていただきました。保護者の皆様の負担感を減らすことができる方法を次年度以降も考え、実施時期・実施頻度につきましても十分に検討を重ねた上で、実施できればと思っております。

高い評価をいただいたのは、「(21) 学校は、学校新聞や学年・学級だより等を通して、学校・子どもの様子や学習内容など情報提供に努力している。」、また「(23) 学校は、台風・地震などによる行事変更などの際の子どもや保護者の対応を、わかりやすく知らせている。」「(24) 保護者として、学校のいろいろな教育活動を通して子どもが成長していると、感じている。」でした。

今後もさまざまな方法で子どもたちの活動の様子を知っていただけるよう、情報を提供していくとともに、参観や懇談会などを通じて直接、子どもたちの様子を知っていただく機会を持ちたいと思っております。来年度からシグフィ(メールサービス)で欠席を知らせることができるようになります。子どもたちの情報がより保護者の皆様と共有していけることを大事にしていきたいと思っております。子どもたちの成長する姿も伝わるよう、今後も保護者の皆様や子どもたちをとりまくさまざまな関係機関と共に、子どもたちの成長に向き合っていきたいと思っております。

逆に、肯定評価が80%を割った項目は「(12) 学校は、いじめなど子どもが困っていることがあれば、迅速に対応している。」でした。

子どもたちの困りごとには、教職員が日々のかかわりの中で気づいたり、子どもたちから直接訴えがあったりすることが主です。また、学期に1回行う生活アンケートで困り感を訴える児童もいます。引き続き、子どもたちの困り感を早期に把握し、重篤な状況にならないよう、早期発見・早期対応をまいります。また、すぐ子どもたちが悩みを打ち明けられるよう、スクールカウンセラーの活用等、環境づくりにも努めてまいります。

本校では小規模校の利点を活かし、子どもたち一人ひとりをていねいに見守り、一人ひとりの状況に応じた支援を大切にしています。このアンケートでいただいたすべてのご意見を踏まえ、次年度の教育活動につなげてまいりたいと存じます。

保護者のみなさまには、次年度も引き続き、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。